第9講　地方からの視点と日本の産業・文化の確立

PART3 室町時代の産業と都市の発展

Chapter 1　室町時代の産業の発展

目標　日本で農業の集約化・多角化を進める必要があったのはなぜだろう？
室町時代に鉱山の開発が進んだのはなぜだろう？

1　室町時代の農業・諸産業

①農業の発達→集約化・多角化が進展し惣〔惣村〕成立の経済的な前提に

A　稲作の進歩

あ　灌漑・排水施設の整備・改善（水車に加え**竜骨車**を導入）

い　肥料の発達（刈敷・草木灰に加え〔1　　　　〕の使用が普及）

う　稲の品種改良（早稲・中稲・晩稲の作付けが普及）

え　二毛作の普及と畿内における**三毛作**（米・蕎麦・麦など）の開始

B　商品作物の多様化

楮・桑・**茶**・漆・藍・荏胡麻・苧〔苧麻〕・**綿花〔木綿〕**など。

代銭納の普及と手工業の発達により，農作物が商品として広く流通するようになった。

②諸産業の発達

A　漁　業→専業漁師の出現と上方を中心とした網を使用する漁法の進歩

B　製塩業→自然浜である揚浜のほかに古式入浜（のちの入浜塩田）も登場

2　室町時代の手工業・鉱業・商業

①**手工業**の発達

全国的に同業者組合の〔2　　　〕が結成され，各地で**特産物**の生産が発達。

A　〔3　　　　　　　〕

京都西陣，丹後，加賀，常陸，上野，下野，筑前博多など。

B　**麻織物**

越後など。

C　〔4　　　　　　　〕→綿花〔木綿〕が朝鮮から伝わり戦国期に栽培が始まる

三河など。

D　和紙

美濃（美濃紙），越前（鳥の子紙），播磨（杉原紙），土佐（土佐紙）など。

E　陶器

尾張（瀬戸焼・常滑焼），美濃（美濃焼），近江（信楽焼），備前（備前焼）など。

F　漆器

能登（輪島塗），和泉（堺春慶塗）など。

G　金属

河内（鍋），能登・筑前（釜），出雲（鍬），山城・相模・備前（刀剣）など。

H　酒造業

京都・大和・摂津・河内など

②鉱業の発達→鉱山の開発が進む

A　15 世紀前半に明・朝鮮向け輸出品として銅の需要が増える

B　甲斐・伊豆・駿河の金山や但馬・石見の銀山など

③商業の発達

A　応仁の乱後に〔5　　　　　　　〕が一般化

B　市座（市の特定商人の販売座席）の設定

C　行商人である**振売・連雀商人**の増加と

女性の行商増加（**大原女・桂女**）

D　都市における**見世棚**〔店棚〕の一般化

E　専門市場〔卸売市場〕の発生

→京都三条・七条の米場，

京都六角・淀の魚市など

F　全国的な〔6　　　〕の結成

→地方には本所を持たない座も増えていった

大山崎の油座神人

（離宮八幡宮に所属し石清水八幡宮が本所），

北野神社の麹座神人，祇園社の綿座神人，

蔵人所の灯炉供御人など。

大原女（上）と桂女（下）

まとめ　耕地面積が狭いため集約化・多角化を進める必要があった。

明・朝鮮との貿易や戦国大名の勢力拡大のため，各地で鉱山が開発された。

Chapter２　室町時代の経済と都市の発展

目標
撰銭令の正確な意味について知ろう。
室町時代に交通が発達した理由は何だろう？

1　室町時代の経済

室町時代の銭貨

①貨幣経済の発達

A　流通の進展→年貢の銭納〔代銭納〕が一般化
遠隔地取引の拡大による**為替〔替銭〕**利用が増加（手形＝**割符**を使用）。

B　貨幣の種類（統一貨幣はなし）→粗悪な鐚銭（**私鋳銭**〔模造銭〕）も大量に流通
宋銭，〔1　　　　〕（**洪武通宝**・〔2　　　　　　〕・宣徳通宝）など。

C　混乱→鐚銭・割銭などの悪貨が横行
良質の銭（精銭）を選ぶ**撰銭**行為が増加し，貨幣の円滑な流通を阻害。

D　対策→西日本では米・銀などの現物も取引に使用
幕府・大名・惣村は，それぞれ〔3　　　　　〕
（悪銭と良銭の交換率規定・特定の悪銭流通の禁止）を発布するが，効果は不十分。

E　都市金融業者（**土倉・酒屋**）の発達→女性も金融業へ進出
幕府は土倉役〔倉役〕・酒屋役を得るかわりにこれらを保護。
※京都五山などの**寺院**も，**祠堂銭**の名目で集めた銭を高利で貸し付けていた。

F　農村における相互金融の発達→無尽（講）・頼母子（講）

②交通の発達→地方産業の発達による遠隔地取引の活発化

A　水上交通→『兵庫北関入船納帳』は摂津国兵庫湊から大坂湾に入る船の数を記す
一定航路を定期的に行き交う廻船が登場。

B　陸上交通
都市近郊の運送業者である〔4　　　　〕・**車借**の発達。

C　〔5　　　　〕の発生→運送業者だった問丸〔問〕が卸売商人に発展
大都市や交通の要地で，商品の運送・保管・売買のほか，商人宿を兼ねる。

D　〔6　　　　〕**の発達**
荘園公領制の崩壊による幕府・公家・寺社の困窮→関銭・津料を徴収。
※交通・流通を著しく阻害したので，のち戦国大名により撤廃命令が出された。

2 都市の発達

①〔[7] 〕→軍事・経済の拠点

小田原（相模国・北条氏），**春日山**（越後国・上杉氏），
〔[8] 〕（越前国・朝倉氏），府中〔甲府〕（甲斐国・武田氏），
府中〔駿府〕（駿河国・今川氏），**山口**（周防国・大内氏），**府内**（豊後国・大友氏），
鹿児島（薩摩国・島津氏）など。

②〔[9] 〕→寺社の門前が繁栄

〔[10] 〕（信濃国・**善光寺**），坂本（近江国・延暦寺），大津（近江国・園城寺），
奈良（大和国・興福寺など），**宇治・山田**（伊勢国・**伊勢神宮**）など。

③〔[11] 〕→**浄土真宗〔一向宗〕**寺院を中心とした自治都市

石山（摂津国・**石山本願寺**），山科（山城国・**山科本願寺**），
吉崎（越前国・**吉崎御坊〔吉崎道場〕**），金沢（加賀国），今井（大和国），
富田林（河内国）など。

④〔[12] 〕

十三湊（陸奥国），三国（越前国），敦賀（越前国），小浜（若狭国），
坂本（近江国），大津（近江国），桑名（伊勢国），大湊（伊勢国），
淀（山城国）・山崎（山城国），兵庫（摂津国），〔[13] 〕
（備後国・芦田川沿い），尾道（備後国），平戸（肥前国），坊津（薩摩国）など。

⑤その他→**宿場町**など

⑥**自由都市〔自治都市〕**→自らの生命と財産を護るために結合

A 〔[14] 〕**（山城国）**→上京と下京に大きく分かれ独自の町法を定める
月行事〔月行司〕を中心とする〔[15] 〕の手で祇園祭を再興（1500年）。

B 〔[16] 〕**（和泉国）** →日明貿易のち南蛮貿易の拠点
36人の会合衆〔納屋衆〕が自治を行う**港町**。

C 〔[17] 〕**（筑前国）**→日明貿易のち南蛮貿易の拠点
12人の年行司が自治を行う**港町**。

D その他→平野（摂津国）など

まとめ
撰銭令は，悪銭と良銭の交換率を規定し特定の悪銭流通を禁止したもの。
室町時代，地方産業の発達による遠隔地取引活発化のため交通が発達した。

第９講　PART３　確認問題

1 室町時代に普及した肥料として**あやまっているもの**はどれか。

① 下肥　② 干鰯
③ 草木灰　④ 刈敷

2 麻織物を特産物としたのはどこか。

① 上野　② 常陸
③ 丹後　④ 越後

3 三河の特産物はどれか。

① 絹織物　② 綿織物
③ 茶　④ 漆

4 石清水八幡宮を本所とする座はどれか。

① 灯炉供御人　② 大山崎の油座
③ 麹座神人　④ 綿座神人

5 金融業者はどれか。

① 土倉　② 車借
③ 問丸　④ 馬借

6 朝倉氏の城下町はどこか。

① 春日山　② 府内
③ 一乗谷　④ 小田原

7 宇治・山田はどのような町として発展したか。

① 城下町　② 宿場町
③ 港町　④ 門前町

8 自らの生命と財産を護るために結合した自由都市にあたるのはどこか。

① 草戸千軒町　② 博多
③ 吉崎　④ 山口

第9講　PART３　確認問題 解答

1 解答：②　干鰯は江戸時代に普及した。

2 解答：④　①の上野，②の常陸，③の丹後はいずれも**絹織物**を特産物とした。

3 解答：②　①の絹織物は，京都西陣，丹後，加賀，常陸，上野，下野，筑前博多などの特産物である。

4 解答：②　大山崎の油座神人は離宮八幡宮に所属し，石清水八幡宮を本所にしていた。

5 解答：①　幕府は土倉役〔倉役〕・酒屋役を得るかわりに，これらを保護した。②の**車借**，③の問丸，④の**馬借**はいずれも運送を主としている業者。

6 解答：③　**一乗谷**は越前国にあった。①春日山（越後国）は上杉氏，②府内（豊後国）は大友氏，④小田原（相模国）は北条氏の城下町。

7 解答：④　宇治・山田（伊勢国）は**伊勢神宮**の門前町。

8 解答：②　博多は**筑前国**にあり，日明貿易のち南蛮貿易の拠点となった。①の草戸千軒町（備後国）は**港町**，③の吉崎（越前国）は**寺内町**，④の山口（周防国）は**城下町**にあたる。